

定例公安委員会の開催状況について

令和4年12月22日（木）に、第35回山形県公安委員会定例会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 1月の行事予定

1月の行事予定について報告があった。

2 秋の情報処理能力検定の実施結果について

秋の情報処理能力検定の実施結果について報告があった。

委員のコメント

- デジタル化の進展に対応するため、この検定を通じて多くの職員が知識技能を身につけるよう取り組んでほしい。
- 今後も中級受検者の裾野を広げてほしい。
- デジタルリテラシーの観点から、中級レベルが現代の一般常識的レベルと言える。民間企業ではリスクリングと称して、社員のデジタル能力を高めようと指導教育に力を入れている。県警としても継続して指導教養に力を入れてほしい。

3 110番映像通報システムの試行運用状況について

令和4年10月1日から試行運用を開始した110番映像通報システムについて報告があった。

委員のコメント

- 消防など他機関との連携においても有効活用してほしい。
- 通報者が正しく安全な方法で協力できるよう県民への周知促進を図ってほしい。
- このシステムが機能することにより、警察業務の遂行が円滑になる。通報者が危険な状態にならないよう配慮しながら協力を求めている。

4 多額現金の払出盗を伴う広域更衣室荒し事件の検挙について

多額現金の払出盗を伴う広域更衣室荒し事件の検挙について報告があった。

委員のコメント

- 若手警察官の活躍があったことは頼もしい。若手の発想とベテランの経験をうまく融合させて、さらに実績を積み上げてほしい。
- ベテランによる緻密な手口分析は山形県警察の大きな財産である。後継者の育成にも配慮願いたい。
- 難事件の解決は県民の安全安心の確保に直結する効果的な警察活動である。